



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2023.11.24

教育委員会だより No.148



愛村心（I尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

小中英語パートナーシップ事業公開授業研究会開催 ～広戸小学校・天栄中学校～

10月27日（金）、本事業の拠点校である広戸小学校と天栄中学校を会場として、小中英語パートナーシップ事業公開授業研究会が開催されました。県中域内及び天栄村内から多くの先生方が参加し、授業を参観しました。

広戸小学校では、3～6年生の教室で授業を公開しました。たくさんの先生に囲まれて緊張した児童もいたようですが、日頃の学習の成果を発揮して、楽しく、いきいきと輝く表情で英語の学習に取り組んでいました。

天栄中学校では、1年生と3年生が授業を公開しました。「英語の村てんえい」で学んできた子どもたちが、英語を用いての表現力を存分に発揮して、教師や友達、ALTと楽しくコミュニケーションを図る姿を披露しました。

広戸小学校、天栄中学校の子どもたちの姿に、参観していた先生方もとても感心していました。

福島県教育委員会の指定を受けて、令和3年度より本事業に取り組んできましたが、今年度で終了となります。3年間で培った英語教育の指導技術や子どもたちの英語力を今後も継続していけるように努力していきたいと考えています。



↑ 広戸小学校 ↓



天栄中学校



天栄村幼・小連携研修会

10月30日（月）に天栄幼稚園を会場として、村内の幼・小学校の教員が集まって研修を実施しました。午前は保育参観、午後は協議会を実施しました。協議会では、幼小連携の取組をより良いものにするための手立て等について、幼稚園、小学校の先生方で話し合いました。また、所属の学校園の子どもの様子から、村全体として子どもに意識的に育みたい力について話し合い、今年度に引き続き「聞く力」「表現する力」の2つを重点として育てていくことを確認しました。

天栄村では、今後も校種を越えて、定期的に研修や交流を行うことで、それぞれの子どもの実態を把握し、指導の実際を学び、教育環境の変化に対して円滑につなぐことができるよう保育・指導方法を工夫していきます。



生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○第59回天栄村文化祭・第28回生涯スポーツフェスティバル

10月28日(土)、29日(日)の両日、第59回天栄村文化祭が行われました。体育館では幼保小中学校の書写、図画や一般個人の作品をはじめ各団体等の作品が一堂に展示されました。28日には総合農村運動広場で体育協会主催のスポーツフェスティバルが行われ、秋空の下、家族連れの利用者が心地よい汗を流していました。また、29日には体育館のステージで幼稚園、小中学校の歌、合奏をはじめ各団体の舞踊や天栄山黄金太鼓保存会の演奏、村出身のタカサキユキコさんによるライブ、バルーンショーの大道芸、そしてよしもとお笑いライブが行われました。最後には出演者によるお菓子まきが行われ、会場は大いに盛り上がりました。また、役場駐車場では多くの来場者がキッチンカーによるグルメに舌鼓を打っていました。



生涯スポーツフェスティバル



タカサキユキコさんのライブ



農林産物コーナー



天栄山黄金太鼓保存会の演奏



よしもとお笑いライブ



お菓子まきの様子

○第35回ふくしま駅伝

11月19日、第35回ふくしま駅伝が白河市から福島市県庁前までの16区間で行われました。天栄村チーム全員が気持ちを一つにして挑み、総合順位35位、村の部8位となり、昨年より総合順位を10位あげたことにより敢闘賞を受賞しました。また、個人としては1区の岩崎麻知子選手、16区の幡谷原太選手が、村の部で区間賞を獲得しました。



1区 岩崎麻知子選手



7区 牧野祐翔選手



9区 添田美優選手